



令和7年度 浜松市立北浜北小学校 学校だより

北心だより

令和7年7月18日 NO.5



学校教育目標

夢に向かって 輝き合う子



成長を支え、促すために



今年は例年になく6月から高温が続きました。雨も例年に比べ梅雨が早く開けてしまいました。今後も暑い日が続くことでしょう。そんな中で、本日77日間の1学期が終わりました。この1学期間で北浜北小学校の子供たちは少しずつ成長している様子がうかがえました。

毎朝正門、時に北門に立ち、集団登校の子供たちに朝の挨拶をしたり様子を見守ったりしていました。横断歩道を渡る時にはいつでも高学年が左右を確認し、低学年の子たちを安全に渡らせていました。高学年が低学年を思いやっている姿にはとても感心しました。さらに、「おはようございます」と私がする前に挨拶を自分から進んで大きな声でする子、挨拶をされてから挨拶を返す子、小さい声ではあるが挨拶を返す子、恥ずかしそうにぺこりとお辞儀をする子、何も反応しない子も僅かながらいますが、確実に自分からの挨拶が増えています。1階の南側の屋外には1年生はアサガオを、3年生は理科で観察するオクラやヒマワリ、大豆を育てています。朝はいつもその1、3年生の元気な声が聞こえてくるのも日課となりました。水やりをする子供たちに「葉が大きくなったね」「つるが伸びたね」「花が咲いたね」と声を掛けると「葉がこんなに大きくなったよ」「つるが伸びてもっと伸びそう」「花がいっぱい咲いたよ」「これも咲きそう」とうれしそうに話してくれます。一生懸命に世話することで自分の植物がどんどん成長することを見たりや次にどうなるのか想像したりして楽しそうでした。



とある休日後に、しおれて元気がない朝顔の様子を見て、水をたっぷりあげている1年生の姿を見かけました。また、3年生は水やりのためにホースがうまく伸ばせないときに協力して声を掛け合ってホースを伸ばしている様子を見かけました。生活の中で問題を解決するために考えたり、仲間と上手く仕事を行ったりすることを学ぶ姿でした。このように子供は、いろいろな問題や課題を解決していくことで少しずつ成長してきました。

子供たちが育っている環境は、学校という安心・安全な場ではあります。しかし、努力して乗り越えていく学習課題があまです。意見が違ふ友達とも折り合いをつけ、協力しなければならないことがたくさんあります。そして、子供たちが今後生き抜いていくための知恵や優しさを日々学んでいるのです。子供によって感じ方も違います。それを理解しながら子供たちの成長を支え、促している

くためには、御家庭と学校が連携し、子供たちの成長を確かめ合い、今後の方策を話し合うことが何より大切だと感じます。

明日から夏休みになります。夏休みは、子供たちの成長を促す機会でもあり、守ってあげる機会でもあります。それぞれのお子さんに合った夏休みをどうぞお過ごしください。

1学期間、北浜北小学校の様々な教育活動に対して、多くの御支援・御理解いただき感謝申し上げます。2学期もまた、全職員で子供たちを指導・支援していきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

(校長 袴田 洋史)

